

日本沙漠学会誌「沙漠研究」投稿規定 (2018年5月25日改訂)

1. 日本沙漠学会誌「沙漠研究」は、沙漠ならびに乾燥・半乾燥地に関する広範な分野の研究成果を掲載し、内外の研究交流を図ることを目的とし、年4回発行（季刊）を原則とする。
2. **投稿の資格** 投稿原稿の筆頭著者は日本沙漠学会の正会員または学生会員でなければならない。ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない。
3. **原稿の種類と長さ** 一般投稿原稿の種類と図表を含めた刷り上がり頁数を以下に規定する。これを上回る長さの原稿の掲載が認められた場合、超過頁分の経費は著者負担とする。使用言語は日本語および英語とする。
 - (1) 原著論文 (Original Article) : 著者のオリジナルな研究の成果で、他の著書、学術雑誌に未発表のもの。8頁以内。
 - (2) 短報 (Research Note) : 速報的・中間報告的、あるいは補遺的ではあるが、オリジナルな研究の成果で他誌に未発表なもの。4頁以内。
 - (3) 展望論文 (Review Article) : 特定の問題について従来の研究結果・資料に基づき総合的に論じ、あるいは将来への展望を述べたもの。8頁以内。
 - (4) 資料・報告 (Material・Report) : 研究あるいは実用面で価値が高い事項について関連する資料をまとめたもの。6頁以内。
- ※ (1) - (4) は、複数名の編集委員会以外の利害関係の無い外部査読者 (Potential reviewer ; 沙漠学会会員でなくともよい) を投稿時に推薦することが望ましい。
 - (5) 講座・解説 (Lecture) : 学問体系が確立された事項について客観的かつ、専門外の会員にも理解できるよう平易に解説したもの。8頁以内。
 - (6) 小特集 (Special Report) : 日本沙漠学会あるいは分科会が企画した講演会等の内容をまとめたもの。原則6頁以内。
- (7) 批評 (Critique and Reply) : 掲載された本紙記事に対する批評、ならびに著者の応答。2頁以内
- (8) その他: 編集委員会が必要と認めたもの。
4. **原稿の書き方** 別に定める**執筆要領**、および *Instructions to Contributors* による。
5. **原稿の採否** 原稿は編集委員会で別に定める内規に従って審査を行い、採否を決定する。編集委員会は査読結果に基づき、原稿の一部変更を求めることがある。
6. **校正** 著者校正是初校のみとし、以降の校正是原則として編集事務局が著者の初校に従って行うが、初校ミスは著者の責任とする。著者校正是誤植などの軽微なものとし、大幅な加除訂正等の変更は認めない。
7. **著作権** すべて日本沙漠学会に属する。著者が一部を転載する場合、一部あるいは全体を機関リポジトリへ登録する場合には、下記問い合わせ先に連絡の上予め許可を得る。
8. **投稿料・出版費** 掲載が決定した原稿について、別に定める投稿料・出版費を徴収する。
9. **原稿の送付**: 日本沙漠学会編集委員会宛に、下記メールアドレスまで E-mail にて送る。編集事務局は原稿の受理にあたって著者に受付通知を发出する。メール未達等の可能性があるため、編集事務局から受付通知が届かない場合、著者は編集事務局に問い合わせる。

E-mail: jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp

原則 E-mail にファイルを圧縮して添付する。1通に添付するファイル容量が5MB以下になるよう、図の形式・貼付法、写真のbit数、2-3通に分割等の工夫をする。E-mailによる原稿送付が難しい場合は、編集事務局まで問い合わせる。

問合せ先:

日本沙漠学会誌「沙漠研究」編集事務局
三角誠司
E-mail: jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp
Tel: 03-3551-9896, Fax.: 03-3553-2047

◇投稿規定内規 I. 投稿および出版費 (2017年度より改訂)

1. 投稿料金：非会員が筆頭著者である投稿論文は1件あたり60,000円(依頼の場合無料)、カラー頁1頁あたり40,000円。以上に相当しない場合は無料。
2. 出版費(論文電子データ作成、オンラインジャーナル掲載費用。下記に加え、投稿規定制限頁数超過1頁あたり6,000円(依頼の場合無料)を徴収する。基本的に別刷りは作成しないが、必要な場合には著者による経費負担で作成が可能である。)
投稿規定中の制限頁数
8頁以内(原著論文等) 45,000円
4・6頁以内(短報、資料・報告等) 30,000円
2頁以内(批評等) 15,000円
依頼寄稿の場合：事前出版費支払に関する同意を得ている場合には一般投稿の場合と同額。得ていない場合には無料。
(注) 投稿論文の負担額軽減措置について：上記投稿料金および出版費の規定にもかかわらず、学生単独著作、途上国からの投稿、個人的な著作であるために研究費からの支払いが困難などの特別な場合であり、かつこのような理由を添えて著者負担額軽減措置適用を編集委員会宛に投稿時に申し出た上(書式自由)で、これを編集委員会が認めた場合、出版費を規定額の1/3とすることができる。
3. 支払方法：学会からの請求による。経費請求に関する問い合わせ先：日本沙漠学会事務局 宛 Tel: 03-3551-9896, E-mail: jaals@kyouritsu-online.co.jp

◇投稿規定内規 II. 投稿論文審査方法および特集・依頼原稿に関する手続きに関する内規 (2018年5月25日改訂)

- (1) 投稿された原著論文、短報、展望論文(論文特集 Special Articles あるいは特集号 Special Issue 中に現れた総説相当の論文も展望論文として扱う)、資料・報告、講座・解説、批評：編集委員会内において編集委員長より指名された担当委員(委員長兼務も可)が、必要に応じて他委員の意見を入れた上で査読者2名(原則として編集委員1名以上を含む)を選び、編集委員長に伝える。なお、担当委員の判断により、日本語・英語に問題がある場合など、査読に耐えないと判断した場合には、査読に先立ち、著者に修正を依頼することもある。
査読者は依頼日より4週間以内(短報は2週間以内、原則として、以下期日については同様)に審査結果を担当委員および委員長に伝える。担当委員は原則査読意見が揃ってから1週間以内に審査結果をまとめ、編集委員長に結果を伝える。原則第1回目の査読をもって、採否(採には修正が必要な場合を含む)あるいは分類変更の有無を決定する。両査読者の採否あるいは分類変更の意見が異なった場合には、第3の査読者を立てる。
委員長より審査結果を投稿者に伝える。分類変更および否の場合でも再投稿の余地がある場合は、再投稿時には新規原稿扱いとなる旨を著者に伝える。
なお、投稿後3ヶ月を経過しても、審査結果の通知が無い場合には、著者から編集事務局宛てに問い合わせ(宛先: jals.editorial@kyouritsu-online.co.jp)できるものとする。投稿規定にない範疇の論文等の投稿、特集等の企画にあたっては、投稿前に編集委員会宛てに問い合わせること。
- (2) 委員会においてある特定のテーマを掲げて論文特集号(Special Issue)あるいは論文特集(Special Articles)を企画した場合：編集委員を1名以上含む Guest Editorial Board (GEB) を組織し、GEB 内において担当者(Guest Editor)を定め、審査を行うことを妨げない。ただし、審査は通常の投稿論文と同様に厳格に行うものとし、審査過程は委員会(編集委員長)に逐次報告するものとする。
- (3) これらの特集原稿についても、投稿規定に従い分類を行い、学会誌にはその分類を目次等に明記する。予定号に掲載が難しい論文等は、次号以降に通常原稿として掲載できる。
なお、特集号あるいは論文特集については、「◇投稿規定内規 I. 投稿および出版費の定め」にかかわらず、別途印刷等に要する経費の全部あるいは一部の負担を、別途企画・提案者等に一括して求めることがある。特集号については、その号数を通常1-4号の中にも含むかあるいはSとしてその外に置くか、また一部の書式の変更についてこれを認めるか、についても、編集委員会において個別に定めるものとする。
- (3) 編集委員会内から依頼された巻頭言(Forward)、展望総説(Invited Review)、講座・解説：編集委員長より指名された編集委員あるいは相当する学識経験者が閲読を行い、必要に応じて寄稿された論文が本学会誌にふさわしい内容・体裁となるよう著者に訂正を依頼する。
- (4) 委員会においてある特定のテーマを掲げて依頼総説特集(Special Reviews)を企画した場合：編集委員を1名以上含む Working Group (WG) を組織し、担当者をWGにおいて決定した上で、上記(3)と同様の過程により閲読することを妨げない。講演会等の内容をまとめた小特集(Special Report)についても同様の扱いとする。
分科会において企画された小特集に寄稿された論文については、原則的に当該分科会の責任において本学会誌にふさわしい内容・体裁となるよう査読・閲読体制を取り、査読・閲読の有無、責任者、査読者名等その旨を本誌に明示すること。
予定号に掲載が難しい論文等は、次号以降に通常原稿として掲載できる。
- (5) その他編集委員会において認められたもの：個別に編集委員会においてその取り扱いを定める。

1. **用紙・様式**：邦文・英文原稿（英文要旨を含む）ともにプリントアウト時の用紙設定でA4を指定し、天地・左右のマージンを十分とって、次の要領で書く。
 - a) **邦文原稿**は、1頁あたり35字×36行（1260字）程度で書く。段組は不要。原稿2枚が刷り上がり約1頁に相当する。
 - b) **英文原稿**は、12ポイント、ダブルスペースとする（全角40文字×20行程度）。
 - c) 完成した原稿は、原則としてMS-Wordに変換後、投稿規定記載の方法で、ファイルおよびハードコピーをE-mailおよび郵送にて指定の宛先に送る。
 - d) 原稿が受理となった後、あるいは編集委員会の求めに応じて、原稿のファイル（原則としてMS-Word、テキストの両方）、鮮明な原図あるいはそのファイルを、指定された時期・方法により提出する。
2. **英文原稿**は、別に定める *Instructions to Contributors* の規定も参照の上整え、著者の責任でネイティブスピーカーなど、しかるべき人の校閲を予め受けてから投稿する。編集委員会が校閲を必要と判断し、校閲者を斡旋した場合には、校閲経費は著者の負担とする。

邦文原稿についても、責任ある共著者が十分校閲した上で投稿することを強く希望する。
3. **邦文原稿**は次の順に整える。英文原稿の場合も邦文原稿に準じて整えるが、以下(2)に相当する邦文要旨は編集委員会の了承の上で省略することができる。
 - (1) **表紙**：原稿の種類、題名、著者氏名（会員資格）、所属機関名および所在地、連絡先住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレスを書く。題名、著者氏名、所属機関名・所在地には英訳を併記する。英文原稿の場合は、それぞれに邦文を併記する。一般投稿の場合は、複数名の利害関係の無い外部査読者名とその連絡先（E-mail含む）を記載することが望ましい。
 - (2) **要旨**：原著論文、展望総説・展望論文には邦文500～1000文字、英文250～500語内外、短報・資料には邦文200文字、英文100語内外の英文要旨を記載し、5語以内のキーワードを添える。英文要旨から図一覧表までは、原則として、MS-Word（またはテキスト）にまとめ、通し頁と通し行番号を付ける（MS-Wordの場合には、頁設定→行番号と進み、10行置きに行番号を付ける）。
 - (3) **本文**、(4) **引用文献**（本規定6.参照）。
 - (5) **図表一覧**：図番号、表番号、タイトル（必要に応じて凡例、説明文を付ける）をまとめる。
 - (6) **図**：図は18×25cm以内にそのまま縮小印刷されることを考慮して鮮明なものを作成する。写真も図扱いとし、一連番号を付ける。 これらを容量が大きくなりすぎないように工夫した上で、図を作成したソフトウェアによらず閲覧ができる形式（pdfも可）で、(5)図表一覧以降に続く頁に1頁に図を1つずつ貼りつけ、その下に図番号とタイトルを記入する。文章中には図表を挿入しない。1.5MB以上となる場合にはファイルを適宜分割し、圧縮する。E-mailが使えない場合等の原稿送付法は編集事務局に問い合わせる。

(7) **表**：本文とは別ページに作成し、縦罫は用いない。後日体裁を微調整するために、保存は作成したソフトのままでよい（作成ソフト明記）。

4. **図表**：図表は本文とは別頁に鮮明に、そのまま印刷できる形で作成する。本文中では、図表の挿入位置を本文原稿の右端に明示する等の方法により、挿入位置が明確になるように工夫する。図表中およびタイトルで用いる言語は依頼原稿を除き、英文とする。

原図は原稿が受理となった場合など、提出を求められるまでは、著者が保存する。

5. 本文

- (1) 本文形式を特に限定しないが、論旨を明確に簡潔に記載する。
- (2) **脚注は使用しない**。注釈が必要な場合には、注として本文末尾にまとめ、付録がある場合は付録として引用文献の前にまとめる。
- (3) **単位**はSI（The System International）を用い、略記・略号の使用はスタンダードなものに限る。

6. **引用文献**：本文中では市川（1988）、小川（1987）、Rognon（1994）、または、……である（Tucker *et al.*, 1981, 1985; Grove, 1986a, b; Lean and Warrilow, 1989; 天谷ほか, 1984; 田中・長, 1987）。のように書く。成書などから頁を指定して引用するときは、小堀（1972: 15-17）のように、年号の後ろに頁を記載する。本文の後ろに引用文献をまとめる。邦文の文献について欧文の文献を、それぞれ著者名のアルファベット順に並べる。著者が10人を超える文献の場合は、印刷に際して編集事務局が、筆頭から3名の著者名を記し、以下を英文の場合は「*et al.*」、邦文の場合は「ほか」と省略することがある。

雑誌の場合、巻(号)：頁を記載するが、通し頁の場合、号は省略してもよい。Webページは引用文献に含めずに注釈として本文の後ろに注として引用文献の前にまとめる。ただし冊子として発行されていて且つHPに掲載されている場合はHPアドレスを併記できる。そのほか詳細は下記の例および慣例に従う。

雑誌掲載論文・講演要旨集およびそれに準ずるもの

烏云娜・林一六・中村 徹・上條隆志・川田清和（2002）：
内蒙古シリンゴル草原の衛星画像による景観解析。「沙漠研究」12(2): 67-76.

Whitman A.A., Brokaw N.V.L., Hagan J.M. (1997): Forest damage caused by logging of mahogany (*Swietenia macrophylla*) in northern Belize. *Forest Ecol. Manag.*, 92: 87-96.

成書

気象庁（2003）：『世界気象資料 1999年～2002年』気象業務支援センター。

スタイルズ E.E.M.・コッキング E.C.（倉石晋・西成典子訳）（1973）：『植物生理学入門』東京大学出版会。

SPSS Inc. (1998): *SYSTAT 8.0. Statistics*. SPSS Inc, Chicago, IL, 1086p.

編集論文および編集著書（ただし分担執筆者が明記されていない場合は通常の著書として扱う）

佐藤庚（1984）：環境と生長。西村修一編著『飼料作物学』

文永堂出版, 152-169.

Middleton N., Thomas D. (1997): Saline soils in the drylands: Extent of the problem and prospects for utilization. In Middleton N., Thomas D. eds., *World Atlas of Desertification. Second edition*. UNEP.

7. **最終原稿の提出**: 原稿が審査を経て受理となった後, 編集委員会からの指定 (時期・送付先等) にしたがって最終原稿と, 以下の形式にて保存した図・写真の電子ファイルを E-mail にて送付する. 本文はテキストと Word もしくは PDF の 2 種. 図・写真は TIFF, PowerPoint, Word, PDF のうち 1 種. 表は Excel, PowerPoint, Word, PDF のうち 1 種. なお, スキャナーで写真を取り込む場合は 300dpi 以上にて取

り込むこと. 上記以外のソフトを使用する場合や不明な点は, 適宜編集事務局に相談の上対応のこと. 編集事務局は最終原稿の受理にあたって著者に受付通知を发出する. メール未達等の可能性があるため, 編集事務局から受付通知が届かない場合, 著者は編集事務局に問い合わせること.

8. **調整・校正** 論文の最終的な調整とレイアウトは編集事務局が行う. 著者校正は 2 度行う. 1 度目は Word と PDF ファイルにて, 2 度目はゲラ刷りにて行なう. 期限までに返送がない場合には訂正がないものとみなす.

日本沙漠学会報告・会員のページ「おあしす」投稿執筆要領 (2017年5月26日改訂)

1. **「おあしす」** (学会報告/会員のページ OASIS (news and communications)) は, 日本沙漠学会記事および学会員からの投稿からなり, 相互の情報交換を図ることを目的とする.
「沙漠研究」誌刊行に併せて掲載するが, 「沙漠研究」とは通し頁とせず, 独立の頁とする. また, 迅速な情報交換のため, 査読, 著者校正は行わない. 原稿は, 原則, 最新の沙漠研究と併せて発行される「おあしす」に掲載される. 詳しくは総務委員会に問い合わせされたい.
2. **投稿の資格** 投稿原稿の筆頭著者は日本沙漠学会の正会員でなければならない. ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない.
3. **原稿の種類と長さ** 「おあしす」には, 形式にとらわれず様々な形で寄稿可能である. 過去に掲載された原稿の種類を次に標準となる長さとともに示す. 邦文原稿を原則とするが編集委員会が認めた場合は英文も可とする.
 表紙写真 (モノクロ) と, その解説 (300~1,000 字).
口絵として「沙漠研究」に掲載することもある.
 論壇 (1,000~1,500 字程度). 巻頭言として「沙漠研究」に掲載することもある.
 学術大会・秋季シンポジウム報告
 理事会・評議員会・総会報告
 国際会議・シンポジウム報告
 分科会報告
 賛助会員プロフィール
 研究所紹介
 プロジェクト・研究・活動紹介

紀行文, 調査報告, 現地情勢の解説

用語解説

新刊紹介・書評

会員の声 (200 字から 1 頁程度まで)

その他 (編集委員会が認めたもの)

4. **原稿の送付先** 分類, タイトル, 著者名および連絡先を明記の上, 原稿を E-mail にて下記の連絡先に送付する. 詳細は最新の「おあしす」を参照されたい.

5. **原稿の採否** 原稿は編集委員会で採否を決定する.

標準的長さであれば原則として変更を求めないが, 制限頁を超えた場合, あるいは編集上の都合等により著者の了解を得ずに短縮・加筆・修正を行うことがある.

6. **原稿の返却** 受理された原稿は返却しない. ただし, 図・表・写真については希望があれば返却する.

7. **校正** 校正は編集委員会内で行う.

8. **別刷** 特に希望する場合は投稿時に申し込む場合に限り別刷り作成も可能であるが, 経費は著者負担とする. 詳しくは編集委員会に問い合わせされたい.

9. **投稿料** 投稿料は無料とする.

※おあしす原稿送付先, 入会, 広告掲載についての問い合わせ先:

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4 共立ビル 2F

(Tel: 03-3551-9896 Fax: 03-3553-2047

E-mail: jaals@kyouritsu-online.co.jp)

株式会社 共立内 日本沙漠学会事務局